

マタニティ診断にもとづく 母性看護過程の授業設計

監修：青木康子／医学書院

定価：本体 3,200 円 + 税／TEL：03-3817-5657

■2011 年の本誌連載を基盤に、母性看護過程の授業設計を講義・演習・実習の流れに沿って展開する。マタニティ診断に基づいた「概論」「妊婦・産婦の看護」「褥婦・新生児の看護」「周産期ハイリスク」「臨地実習」の具体的な授業展開、学生に何を理解させるのかという指導ポイント、演習や講義の評価表など、実際の授業・実習で活用できる資料も豊富に収載。母性看護学の担当教員必携の 1 冊。

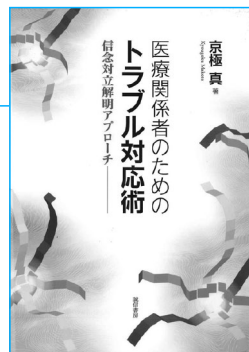
医療関係者のためのトラブル対応術

信念対立解明アプローチ

著：京極真／誠信書房

定価：本体 2,000 円 + 税／TEL：03-3946-5666

■人のもつ強い思い込み、その対立から引き起こされるトラブルが「信念対立」。信念対立は、誤解や齟齬の形をとって至るところで起こり得る。この対立構造を解き明かし、物事を根源からとらえ直すのが「信念対立解明アプローチ」。組織のなかのトラブル、個人と個人の行き違いなどから起こる、ネガティブな感情からの解放のために、ぜひ取り入れたい発想の転換の方法論。抄読会の 1 冊にも！



看護実践にいかす

エンド・オブ・ライフケア

編：長江弘子／日本看護協会出版会

定価：本体 2,100 円 + 税／TEL：0436-23-3271

■エンド・オブ・ライフケアとは「診断名、健康状態、年齢にかかわらず、差し迫った死、あるいはいつかは来る死について考える人が、生が終わる時まで最善の生を生きることができるよう支援すること」(本文より)。「基礎編」で、その考え方の基盤と背景を解説、推進への課題を提示し、「実践編」では、看護アプローチの実践を紹介する。「その人の本当の望み」を受け止め、支えるために。緩和ケアを教える先生方はぜひ。

患者さんに信頼される医院の

心をつかむ医療コミュニケーション

著：藤田菜穂子／監修：岸英光／同文館出版

定価：本体 1,800 円 + 税／TEL：03-3294-1801

■ドクターの前に座っただけで、血圧を上げる人も多くいる。大きな不安や心配を抱えた患者は、「アップセット状態」にあって不思議はない。『「患者さん」という名前の人はいません。(中略)医療機関へ行くと「患者さん」になるだけです。』(「おわりに」より)。医療コミュニケーションの極意は、聴くときも、話すときも「一緒にいる」こと。模擬患者を活用した授業や、実習前の学生さんにもおススメです。

